

令和7年度 第4回全体庁議（8月1日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(5) 第二次帯広市総合除雪基本計画改訂（原案）について [都市環境部]
----	-------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨

令和7年2月の記録的な降雪では、第二次帯広市総合除雪基本計画と異なる大雪対応が必要となったことから、第5章として大雪除雪に関する内容を加え、今後の対応に活かすため、計画の一部改訂を行うもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

第5章 大雪除雪

1 大雪への対応

除雪機械や人員などの限られた資源を有効に配分した除雪体制の整備をはじめ、市民等への情報発信や関係機関との連携など、市民の理解や協力のもと除排雪作業を進める必要がある。このため、令和7年2月に発生した大雪への対応の検証結果を踏まえ、今後の大雪時の除排雪作業に取り組む。

2 大雪時の影響

車のスタックや交通渋滞が発生するなどの道路網への影響をはじめ、路線バスやJRの運休など公共交通機関、学校の休校や学校給食の配送休止、公共施設の休館など様々な影響が生じた。

3 大雪の検証結果

大雪への対応や課題について、「除雪体制に関すること」「情報発信に関すること」「連携体制に関すること」の項目ごとに検証を行った。

4 大雪対応の方向性及び今後の取組み

大雪の検証結果を踏まえ、5つの大雪対応の方向性に沿って、今後の取組みを次のとおり整理する。

4-1 除雪体制に関すること

方向性1 効率よく計画的に除排雪作業を行うため、新雪除雪路線や拡幅・排雪路線の優先度の考え方を整理

方向性2 交通障害を早期に解消するため、各除雪センター間の排雪作業時間の平準化に向けた応援体制を検討

方向性3 排雪ダンプ等は管内だけでは不足となることもあるため、国や北海道等との連絡調整をはじめ、他地域からの除排雪支援や排雪ダンプ等の確保などについて連携を強化

→新雪除雪や拡幅・排雪作業の優先度の考え方の整理のほか、除雪業者間の応援体制づくりや国や北海道、関係団体との連絡体制づくりを進める。

4-2 情報発信に関すること

方向性4 多くの道路で交通渋滞が発生するほか、除排雪の問い合わせが多くなるため、除雪情報や注意喚起など、市民の理解と協力を得るための情報発信について検討

→様々な媒体を活用した市民周知や細かな除排雪情報等の提供に取り組んでいく。

4-3 連携体制に関すること

方向性5 円滑な道路の除排雪作業を行うため、国や北海道をはじめ、交通事業者や庁内関係課との連携を強化

→除雪センターや庁内関係課と連携し、オンライン会議などを活用した情報伝達の円滑化を進めるほか、国や北海道との連携やリエジンの派遣要請に加え、交通事業者や道路管理者と連絡会議を開催し、交通障害の解消に向け協議を行っていく。

■ 今後のスケジュール

- ・ 令和7年8月21日 建設委員会へ原案を報告
- ・ 令和7年9月1日～30日 パブリックコメントを実施
- ・ 令和7年11月 建設委員会へパブリックコメント結果、案を報告

■ 審議結果

- ・ 同内容で、8月21日建設委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし